一燈世談（イットウセイダン）

令和7年6月
№0004
編集者
西原・木村

悪人正機説の真贋

善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや。しかるに世の人ひとつねにいはく、悪人なを往生す、いかにいはんや善人をや＝歎異抄第三条

善人でさえ浄土に往生することができる。まして悪人は言うまでもない。善人が先に救われ、悪人は後から救われるはずが親鸞は逆を言う。ここで善人は善行によりて極楽浄土に行けると思う傲慢な人間は煩悩に満ち弥陀様の救済で出来ず阿弥陀様は救ってくれる。自覚の悪人が救われる。傲慢な善人ですら阿弥陀様の救済で出来ない浄土に行く事は出来ない。自覚する人の解釈は当然であるとされるのである。参考文献：（老谷匡史著）歎異抄：向

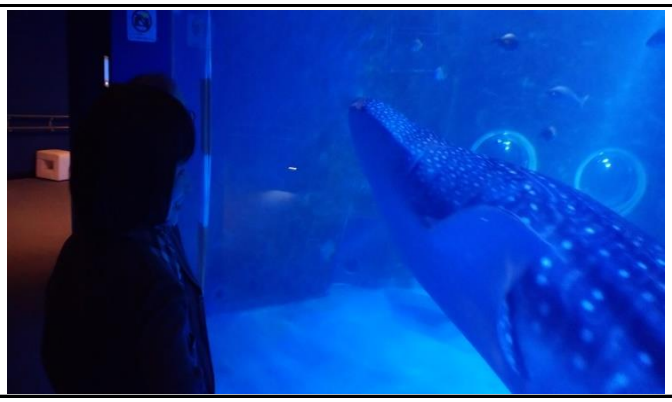
古神道を探る

（概要）佛教はじめ外来宗教の影響を受ける以前にあった宗教（＊おもとの宗教）の一端を受継ぐものです。いわゆる宗教宗派では無く原始神道、固有神道と呼ばれ元日本（世界を覆う教えと信仰・修行体系を指し、自然の神性や祖霊の信仰や祭りを含む）と共に本来大元の教えをかかげ（神がかり）お筆先や鎮魂法（帰神法）などにより探求します。当たり前すぎて記述が極少ないが、天之御中主天皇（イザナギ天皇（神皇）また神武天皇（今上天皇（人皇）など天皇の存在と天皇の行う神事祀りが前提になります。（詳しくはフォーラムやHPで　続く

一燈社は何でもする会社

皆さんのお家に捨てる捨てられない物や使うにも何かおばあちゃんの魂が籠っているようで使いずらいという様な指輪や宝石類などは有りませんか。すっきりさせて正々堂々と使って天国のおばあちゃんやお母さんの魂を慰めてあげましょう。遺品は精一杯使ってあげるのが何よりの供養でしょう。使えば使うほど天国で喜んでいることでしょう。使われないでタンスの引き出しや宝石箱で閉じ込めて置いたのではかえって可哀そうです。さあ今日から明るいお日様の陽を見せて上げましょう。一燈社ではいつでもどこでも、誰にでも親切にお迎えいたします。お気軽にご連絡ください。

★過日おばあちゃんから指輪を使いたいというご依頼を受けました。お祓い後笑顔で指にはめて居たのが印象的でした



生き物供養をしませんか?

左の映像は2023/10/31のとじま水族館で飼育されていたジンベイザメです。丁度2ヶ月後に能登大地震で犠牲となりました。水族館に着いた16時過ぎが発震した時刻と同じでした。不幸な最期だったペット・生き物達・食べ物となって我等に食われた者の為にご供養をしませんか?!

フォーラムでは随時特別講演参加希望者を募集しています。

講演希望者は事務局までご連絡下さい。

お祓いなんでも　一燈社

〒154－0001東京都世田谷区池尻4－32－3

電話＆FAX　03－3411－8043　携帯090－2228－3501

事務局　西原　木村

一燈社フォーラム伝言板

仏教・神道の伝導：講師　木村惠白　西原敍陽

外部講師による講演：自薦他薦希望者募集中

講演希望者あれば随時登用させて頂きます

◎仏事・神道に関する相談は随時　何でも可

一燈世談余録

会員募集

一燈社は会費で運営され

年会費一万二千円

一燈社フォーラム

毎月一回以上

七月十二日土曜日

夜6時～8時過ぎ

六月十四日土曜日

◎会員の困事相談－

発表等大歓迎です

前半

神道ハ休講＊木村先生の気学方位学講義始まります

後半

仏教心経解説

講師　木村

特別講演

特になし